Culet Mieuller
Adamas

取扱説明書

Combi

コンビ ベビーカー
キューレットミューラー

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■本書は大切に保管してください。
■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。
■本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

安全基準A型
（1ヵ月〜48ヵ月ころまで）

もくじ

はじめに

ベビーカーの使いかた

部品の取り付けかた・はずしかた

その他

ご使用の前に

● この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。

● 望ましい連続使用時間：2時間以内(ただし、生後7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内)

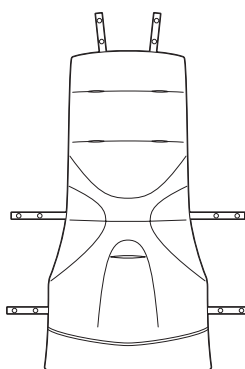
● 使用できるお子さまの月齢：生後1ヵ月※以上48ヵ月ころまで（お子さまの体重の目安18kg以下）

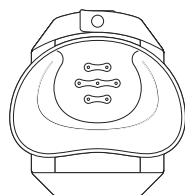
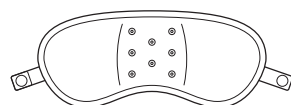
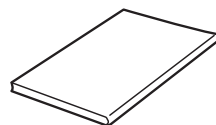
※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヵ月経過したお子さまを示します。

開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

- ●キューレットミューラーアダマス本体
- ●着脱シート
- ●ダッコシート(ヘッドサポート、ボディサポート)
  ※梱包時ヘッドサポートは着脱シートに取り付けてあります。
- ●取扱説明書(本書)

キューレットミューラーアダマス本体
（幌・幌内カバー・ショルダーストラップ・買い物カゴ付き）

着脱シート

●ダッコシート

ヘッドサポート
（エッグショックパッド入り）

ボディサポート

取扱説明書（本書）

● 組み立てる前に、34ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。

① ロットNo.(後ステーに貼ってあるシールに記載されています。)

② お客様のお名前・ご住所・電話番号

③ 販売店名

● 領収書(レシート)を本書といっしょに保管してください。

安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告/注意を促す内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

	補足説明

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

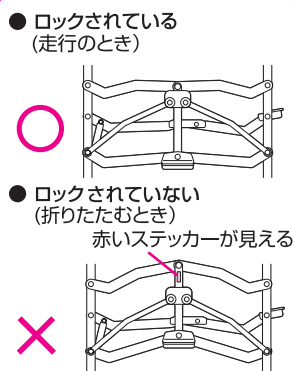
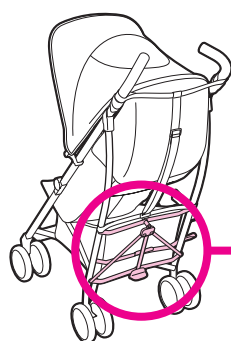
お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

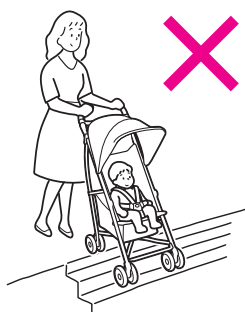
●使用する前に開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。

● ロックされている
（走行のとき）

○

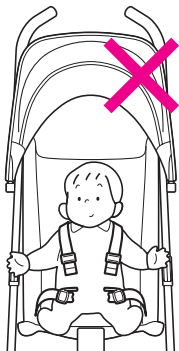
● ロックされていない
（折りたたむとき）

✕

●お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

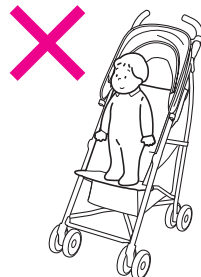
●階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。

●破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。

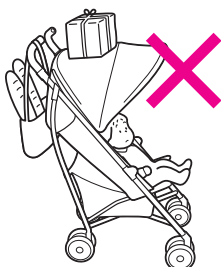
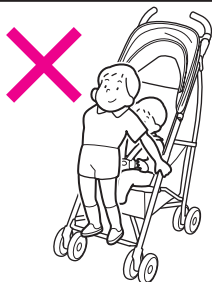
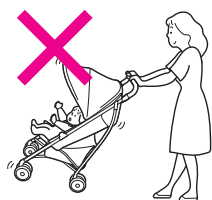
⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちるおそれがあります。

●お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。

●お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。

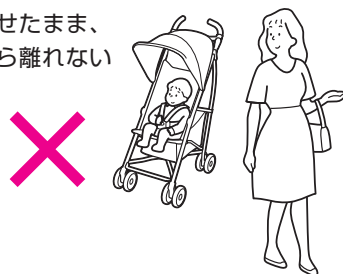
●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してください。

●お子さまをベビーカーの上に立たせないでください。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

●お子さまを乗せているとき、カゴと別売の専用バッグ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。
特にハンドルにつるすと不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。

●ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。また、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

●ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。

●お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

●ストッパーを過信しないでください。
ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。

●お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。

●ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

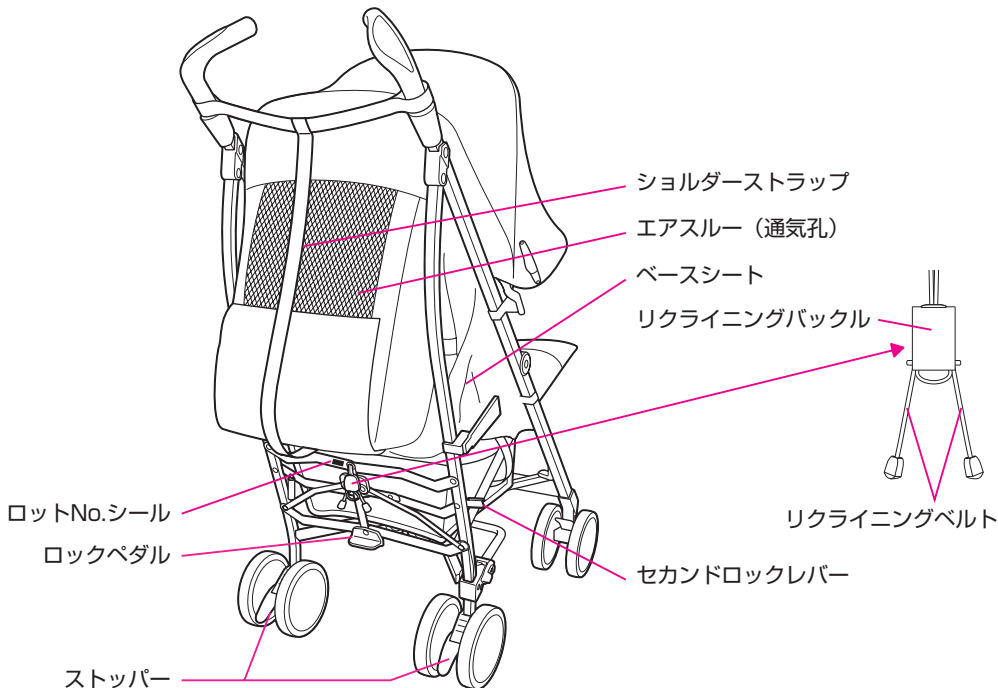
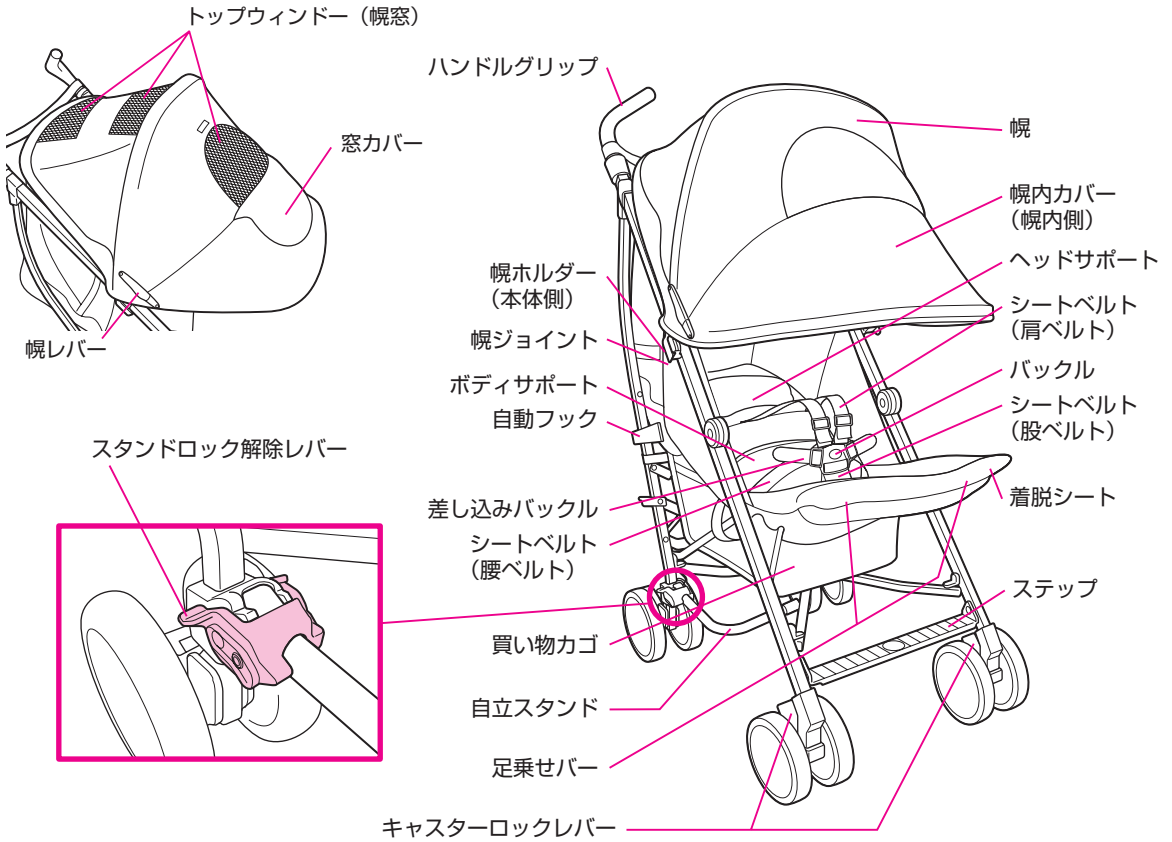
お子さまがケガをするおそれがあります。

- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーを開閉するときは、ステーの動く部分に指や手をを触れないでください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。
- 幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- 当社指定の別売オプション品以外の製品を取り付けないでください。
  転倒や破損の原因となります。
  またお子さまの拘束が不完全になるなど重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意　取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

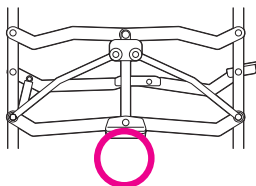
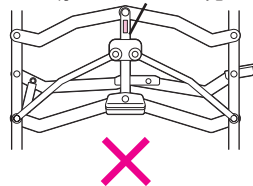
- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。
  目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。
  転倒や思わぬ事故につながります。
- お子さまを乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落ちるおそれがあります。
- おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。(13ページ参照)
- 背もたれを1番倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方法は寄りかかっておすわりができるお子さまに限ります。
- お子さまの頭がベースシート頭部の壁面にあたる場合は、頭があたらない位置まで背もたれを起こして使用してください。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。
  走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。
  破損の原因となります。
- 当社指定の別売オプション品以外の製品を取り付けないでください。破損の原因となります。
- 買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
  段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
  ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- 折りたたみ状態でスタンドを収納するときは、必ずロック解除レバーで操作してください。ロックされた状態で無理にスタンドパイプを持ち上げると破損するおそれがあります。
- 線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまれないように、溝の部分は車輪を浮かせて進んでください。
- 風の強いときは使用しないでください。
  勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。
  落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での放置、保管は避けてください。
  故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねた状態で保管しないでください。
  故障や変形の原因となります。
- 自立させるときは、必ずストッパーをかけてください。
  ベビーカーが倒れやすくなります。
- 危険ですから、むやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用の前に、締結部品にゆるみがないか確認してください。
  ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
  長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、すわらせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。
  本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について
  本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。
- スタンドロック解除レバーを操作するときは、解除レバー以外に手を触れないよう十分注意してご使用ください。指や手をはさむおそれがあります。

各部のなまえ

取りはずしてある部品は本文をよく読んで正しく取り付けてください。

ベビーカーの開きかた

⚠警告

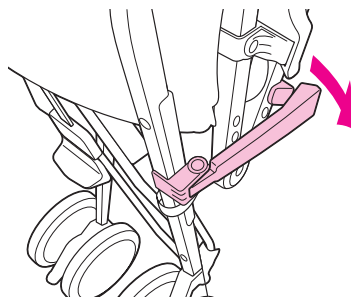
・ベビーカーを開くときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。
指や手をはさむおそれがあります。
・ベビーカーを開くときは、ステーの動く部分に指や手を触れないでください。指や手をはさむおそれがあります。
・使用する前に、開閉ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してください。
急に折りたたまれるおそれがあります。(右図参照)

●ロックされている
（走行のとき）

●ロックされていない
（折りたたむとき）

⚠注意

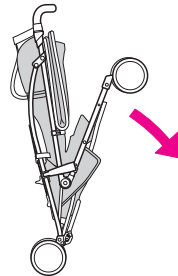
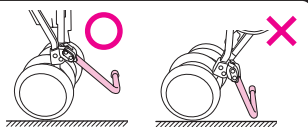
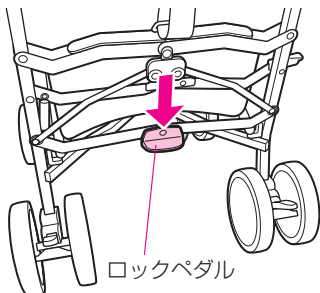
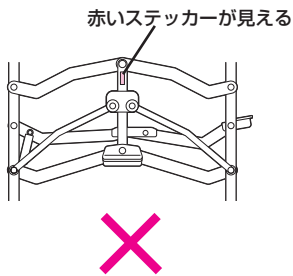
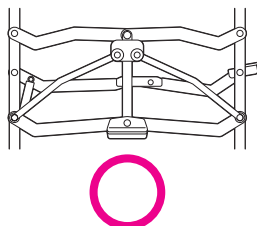
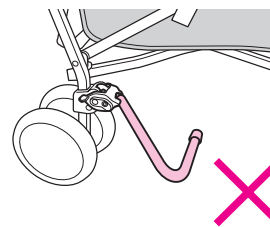
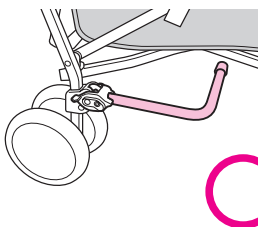
・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
・使用する前に、自立スタンドが収納されていることを確認してください。使用中に地面等に当たり、破損するおそれがあります。

1 自動フック(本体横のプラスチックのレバー)をはずします。

⚠注意

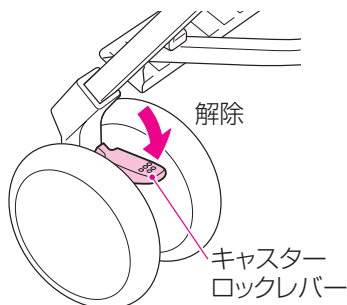
自動フックをもってベビーカーを持ち上げないでください。
自動フックが破損するおそれがあります。

2 ハンドルグリップを握りながら、前車輪をおろし、ベビーカーを開きます。

自動フックをはずす際に、前車輪が急に落下し、ベビーカーが開くことがあります。そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだり、前車輪がぶつかってケガをするおそれがあります。

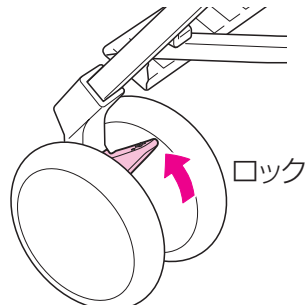
自立スタンドを接地させた状態で
ベビーカーを開かないでください。
自立スタンドが破損するおそれがあります。

3 ロックペダルを足で押し下げて開閉ロックをかけます。

自立スタンドは、ベビーカーを開くと、
自動的に収納されますが、
使用する前に収納されていることを
確認してください。

キャスターの使いかた

● キャスターを使用すると、平たんな路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
● キャスターをロックすると、坂道や凸凹の路面で押しやすくなります。

キャスターを使用する場合

左右前車輪のキャスターロックレバーを押し下げ、ロックを解除する。

キャスターを使用しない場合

坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターをロックする。

キャスターを進行方向に対して真後ろになる位置に合わせてキャスターロックレバーを押し上げる。

ストッパーの使いかた

⚠警告

・ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
・お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

⚠注意

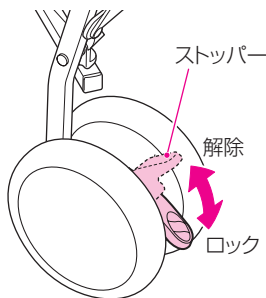
・ベビーカーを停止させるときや折りたたんで自立させるときには、必ずストッパーのロックをかけてください。
・空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全だと動き出すことがあります。
・ベビーカーを折りたたんで自立させるときには、必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ベビーカーが倒れやすくなります。

ストッパーをロックするとき

1 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。

2 ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

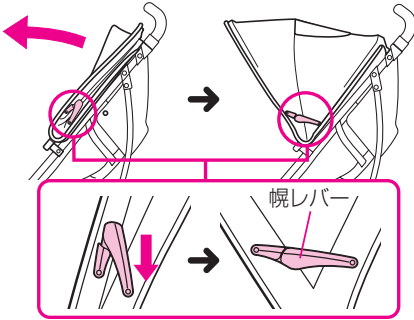
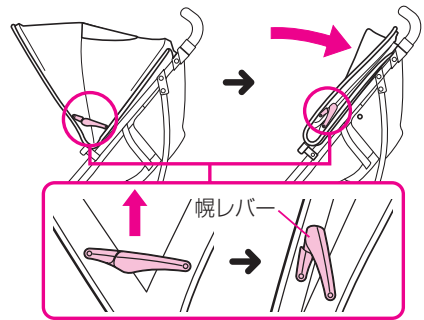
ストッパーのロックを解除するとき

ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。

幌の使いかた

幌は梱包時にはベビーカー本体に取り付けてあります。

幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。
指や手をはさむおそれがあります。

使いかた

幌を使うときは
幌を前に広げ、左右の幌レバーの関節部を押し下げる。

幌を収納するときは
左右の幌レバーの関節部を引き上げ、幌を後側にまとめる。

トップウィンドー（幌窓）の開きかた

窓カバーを開けると、お子さまのようすが見やすくなります。

幌窓を開くとき

1. **窓カバーのフックをループからはずす。**
2. **窓カバーを前方に折り返す。**

トップウィンドーだけでなく、直接お子さまのようすを見るなど、常にお子さまの状態を確認してください。

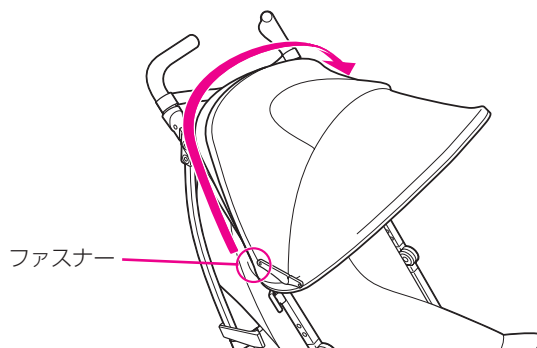
幌窓を閉じるとき

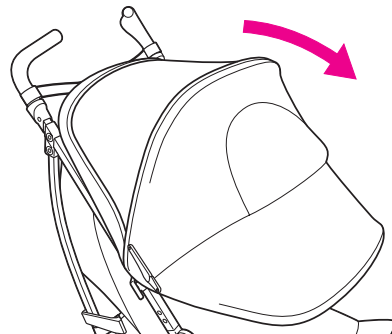
窓カバーのフックをループの後側から差し込む。

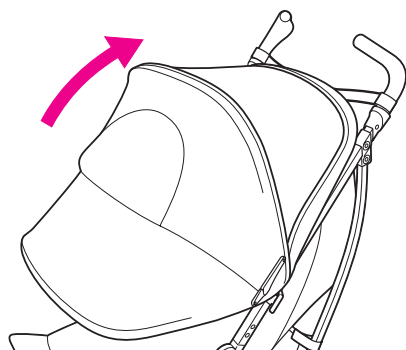
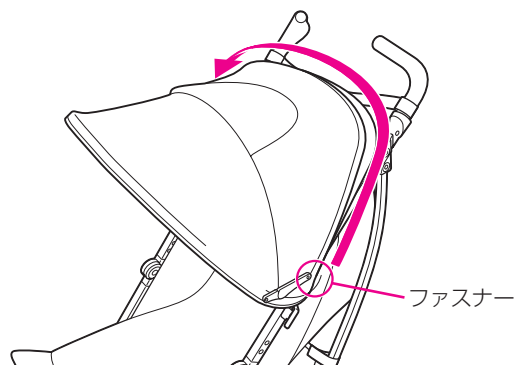
幌のサイズを変える

幌を大きく広げると、日があたるときなどに使うことができます。

大きなサイズで使用するとき

1 幌を開き、側面のファスナーを開く。

2 幌先端部を持ち前方向に引き出す。

「カチッ」と音がして幌の位置が固定されます。使用したい位置でとめてください。（4段階に調整できます）
このとき幌を前から見て、幌が左右同じ位置でとめられていることを確認してください。

収納するとき

1 幌を後側にまとめる。

2 幌側面のファスナーを閉める。

シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

⚠警告
- ・お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、シートベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- ・シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜けださないようにしっかりと締めてください。
- ・お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- ・肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右の肩ベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

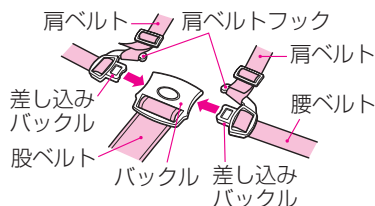
シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

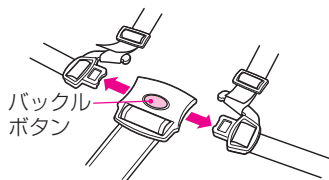
シートベルトの締めかた、はずしかた

シートベルトを締めるとき

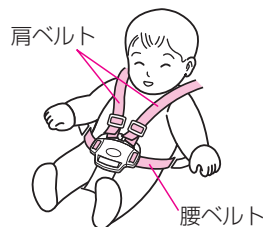
1 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかける。

2 股ベルトを引き出し、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。

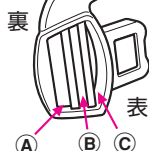
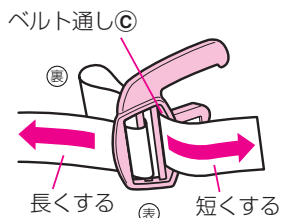
3 肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。

シートベルトをはずすとき

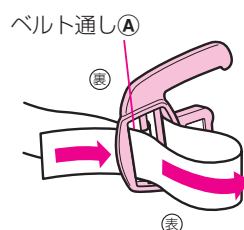
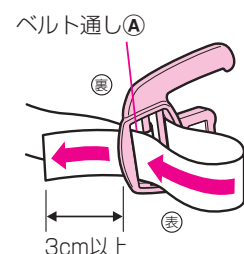
股ベルトのバックルボタンを押す。

お子さまへの装着のしかた

1 お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。

2 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかけ、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。

- ・リクライニングを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。
  肩ベルト通し穴の位置を変えるときは、「肩ベルトの取り付けかた」(22ページ)をご覧になり、確実に取り付けてください。
- ・長さ調節時に差し込みバックルをはずしたときは、「腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた」(21ページ)をご覧になり、確実に取り付けてください。
  取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの長さ調節

1 **バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しAからはずす。**

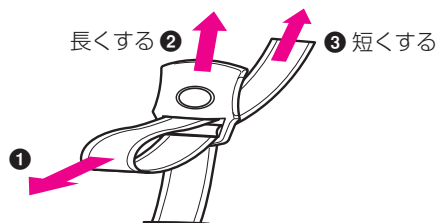
2 **腰ベルトを左右にひっぱり、ベルトの長さを調節する。**

3 **バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しAから裏側に通す。**

腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

こんなときは？

ベルトの調節の目安がわからない
→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。

警告
長さを調節後、腰ベルトを強く引っ張り、腰ベルトがバックルから抜けないことを確認してから使用してください。

股ベルトの長さ調節

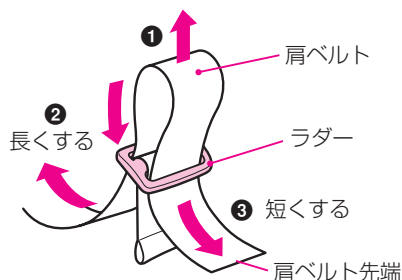
股ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷バックルを引っぱり、短くするときには、❸ベルトの端を引っぱる。

股ベルトは、取りはずしできません。

肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷の方向に引っぱり、短くするときには、❸の方向に引っぱる。

※ラダーは肩ベルトから、取りはずしできません。

リクライニングの使いかた

⚠警告

・リクライニング操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。
指や手をはさむおそれがあります。
・お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
・リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

⚠注意

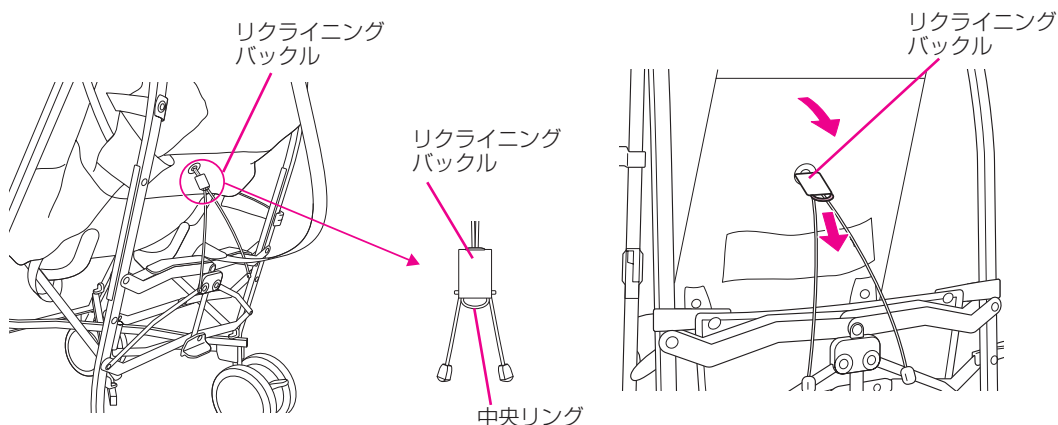
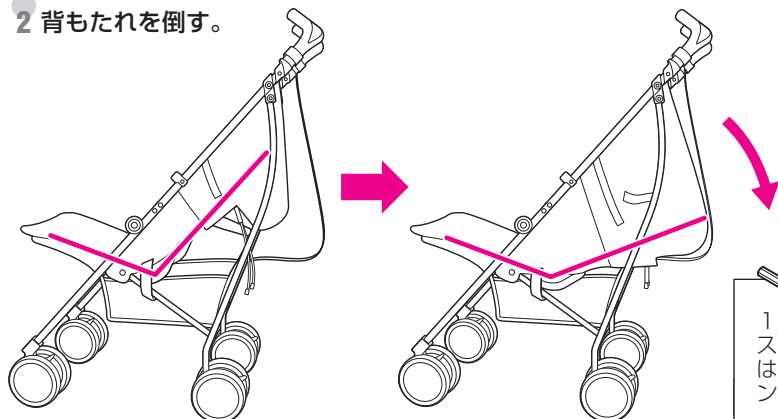
・ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。
思わぬ事故につながるおそれが あります。
・お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
・お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、他方の手でお子さまの体を支えてください。
・おすわりができないお子さまの場合は、1番倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。

リクライニングの使いかたの目安

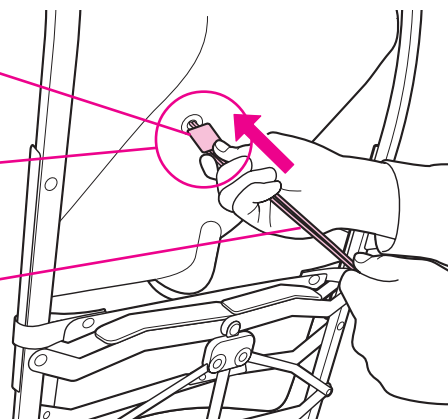
●1ヵ月～首がすわるまで
→背もたれは1番倒した状態
●首がすわってから、1人でおすわりができるまで
→背もたれは1番倒した状態から中間位置まで起こした状態
●1人でおすわりができるようになったら
→背もたれは1番倒した状態から1番起こした状態

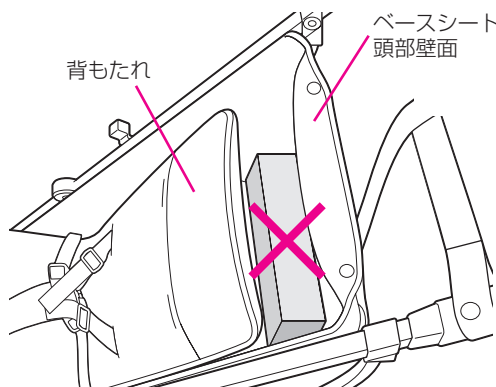
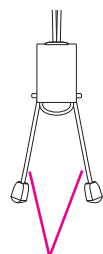
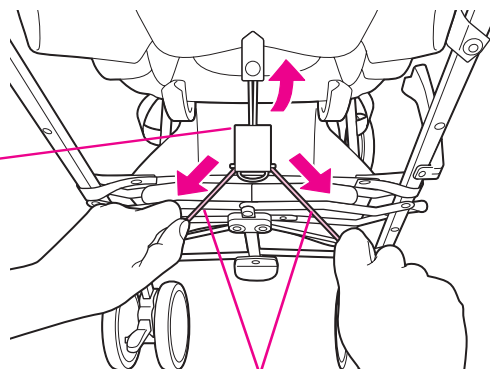
背もたれの倒しかた

※お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
※お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ず片方の手でお子さまの体を支えてください。

1 片方の手でお子さまの体を支え、他方の手でリクライニングバックルの中央リングを引っぱる。(リクライニングバックルは背もたれ裏面中央付近に取り付いています。)

2 背もたれを倒す。

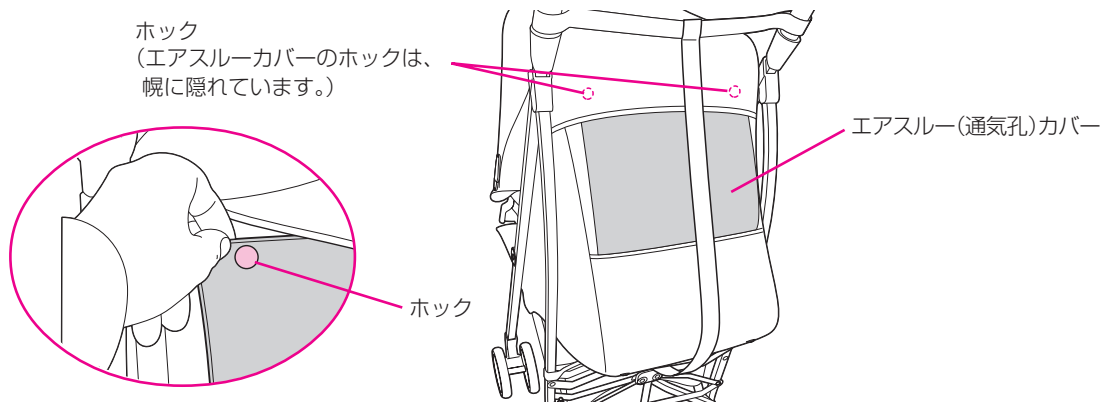
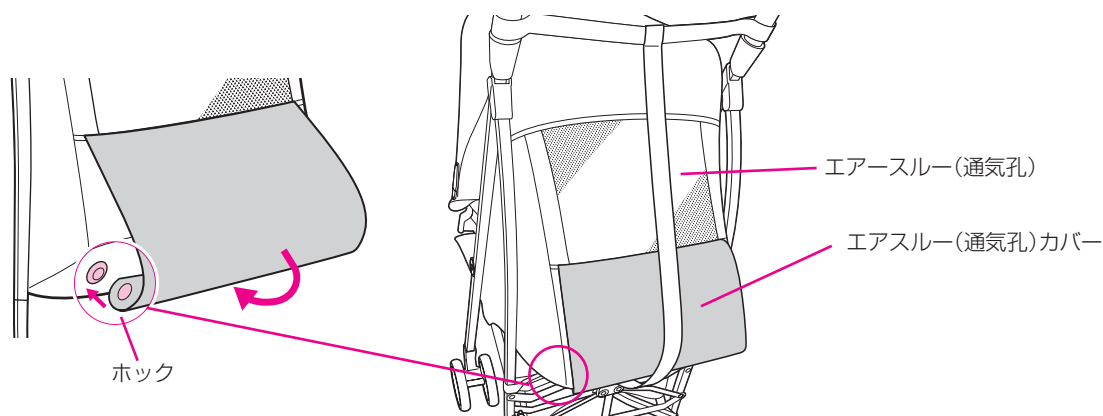
背もたれの起こしかた

1 片方の手でリクライニングバックルを持つ。
2 他方の手でリクライニングベルトを束ねて持つ。
3 リクライニングバックルを持って前方へスライドさせ背もたれを押し上げる。

お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。

警告
背もたれを起こした状態で使用するとき、背もたれとベースシート頭部壁面の間に出来るスペースに荷物などのせないでください。
ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

リクライニングベルトを左右に引っぱっても
背もたれを起こすことができます。

エアスルーシステム(ベースシート頭部通気孔)の使いかた

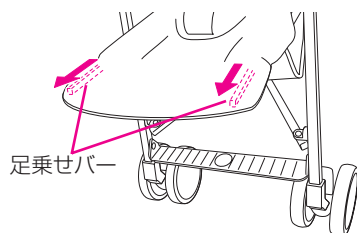
ベビーカーのベースシート頭部には、暑い時期やムレるときなどにお子さまが快適に過ごせるようエアスルーシステム（通気孔）が付いています。

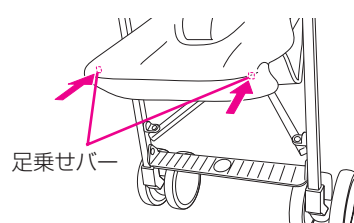
エアスルーシステム(通気孔)を開くとき

1 ベースシート頭部のエアスルーカバーのホック(左右2ヵ所)をはずす。

2 エアースルーカバーのホックをベースシート下側のホックにカバー巻いてとめる。（左右2ヵ所）

足乗せの使いかた

足乗せは、お子さまが寝たときに、楽な姿勢にできます。

足乗せを使用するとき

ベースシート左右の先端を持ち足乗せバーを引き出す。

収納するとき

ベースシート左右の先端を持ち足乗せバーを押し込む。

別売りオプション品着せ替えシートを取り付ける場合は、 足乗せを収納して取り付けてください。

ショルダーストラップの使いかた

ショルダーストラップは梱包時には、ベビーカー本体に取り付けてあります。ベビーカーを折りたたんだとき、ショルダーストラップを使えば、肩にかけて持ち運ぶことができます。

警告

ベビーカーを使用するときは、ショルダーストラップを引き上げないでください。
ロックが解除された状態になり、ベビーカーが破損したり、急に折りたたまれるおそれがあります。

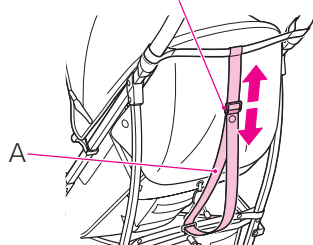
⚠注意

- ショルダーストラップは必ずベビーカーに取り付けてご使用ください。ハンドルに過度の力が加わった場合、ハンドルが左右にひろがりベビーカーが破損するおそれがあります。
- タイヤが汚れているときにショルダーストラップを使用すると、衣類を汚すことがありますので、使用する前に汚れを落としてください。
- 混雑した場所では、周りの人の迷惑になることがありますので、使用しないでください。
- 周りの人や物に引っかかるおそれがありますので、肩にかけるときは自立スタンドを収納してください。
- 折りたたんだ状態で強く振ったり、ゆすったりしないでください。ベビーカーが開き、ご使用者や周りの人がケガをするおそれがあります。
- 背もたれを倒した状態で、お子さまを乗せたままショルダーストラップを引き上げないでください。背もたれが起き上がるなど思わぬ動きをします。
- ショルダーストラップが短い状態で背もたれを倒すと、背もたれが倒せなくなるおそれがあります。

長さ調節のしかた

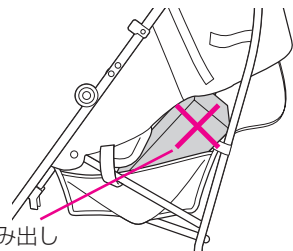
【長くするとき】
調節用ラダーを下げる。

【短くするとき】
ショルダーストラップのA部分を押さえながら調節用ラダーを上げる。

※A部分を押さえないと、ロックが解除されます。

買い物カゴの使いかた

買い物カゴは梱包時には、ベビーカー本体に取り付けてあります。

⚠注意

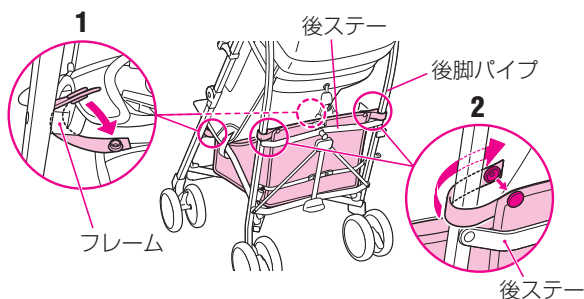
- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- ガラス製品や割れやすいものは入れないでください。破損するおそれがあります。
- 角のとがったものや、カゴからはみ出す容量の大きいものは入れないでください。
  カゴが損傷するおそれがあります。
  また、リクライニングが倒せなくなるおそれがあります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。
  ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。

※荷物はできるだけカゴの底に均等に荷重が加わるように入れてください。
※カゴは前後左右4ヵ所のホックをはずせば取りはずすことができます。

取り付けかた

1. **カゴの前部にある2ヵ所の固定用ベルトを、シート下部の左右にあるフレームに巻いてホックをとめる。**
2. **カゴの後部にある2ヵ所の固定用ベルトを、後脚パイプに後ろ側から巻いてホックをとめる。**

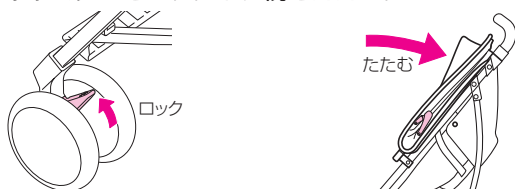
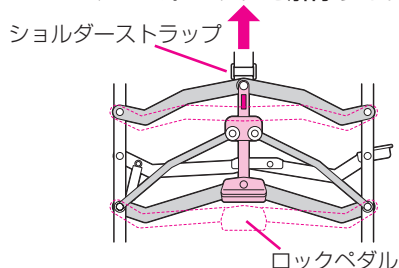
※必ず後ステーの上側でとめてください。

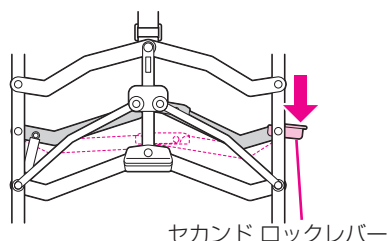
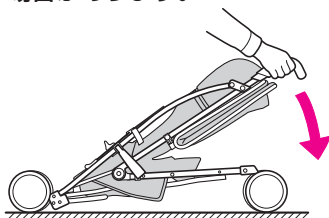
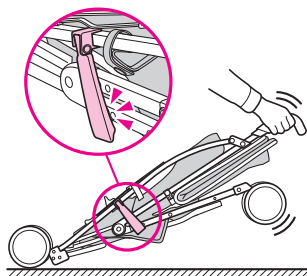
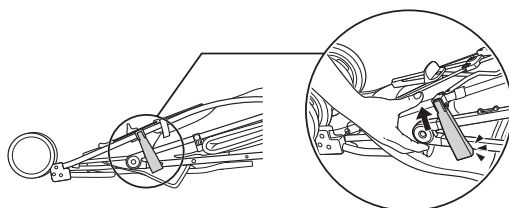
折りたたみかた

警告

- ベビーカーを折りたたむときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。
  指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーを折りたたむときは、ステーの動く部分に指や手を触れないでください。
  指や手をはさむおそれがあります。

⚠注意

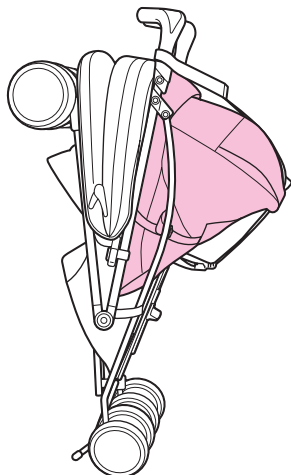
- 何かにひっかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、一度開いて原因を確認してください。
  無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむ前に、買い物カゴに何も入っていないことを確認してください。
  ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 折りたたむ前に、幌が完全にたたまれ後側にまとめられていることを確認してください。
  幌の変形や破損の原因になります。
- 自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際にぶつけたり、引きずったりしないようにしてください。
  自立が不安定になったり破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、ファーストロック、セカンドロックともに解除されていることを確認のうえ操作してください。
  無理に折りたたむとベビーカーが破損するおそれがあります。

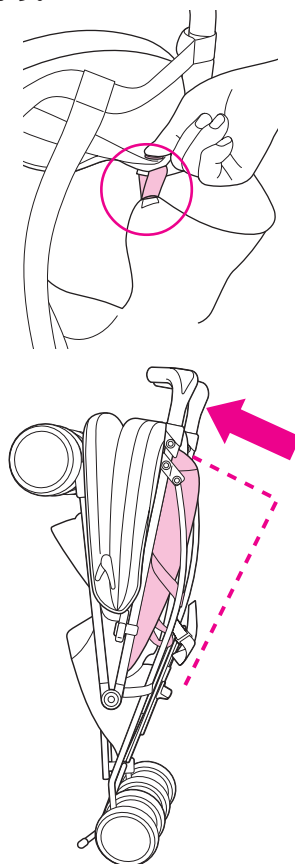
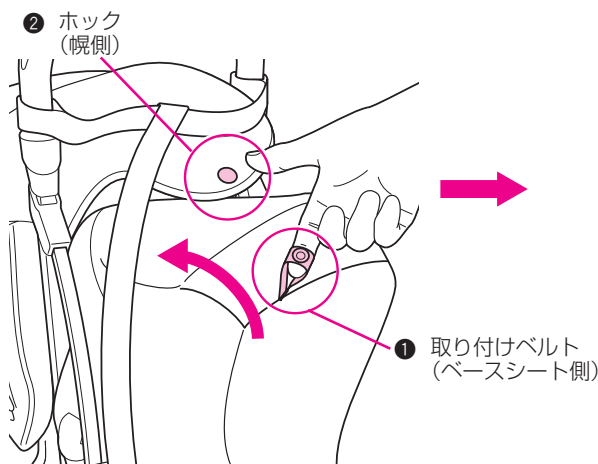
1 左右のキャスターをロックし、幌をたたむ。

2 ❶ファーストロック解除方法
ハンドルグリップを手で握りながら、ロックペダルを足で押し上げるか、ショルダーストラップを引き上げて、ファーストロックを解除する。

❷セカンドロック解除方法
セカンドロックレバーを足で押し下げて、セカンドロックを解除する。

セカンド ロックレバー

3 ハンドルグリップが前車輪に近づくように、自動フックのロックがかかるまで押し下げる。
着脱シートを取り付けていると、多少ロックがかかりづらい場合があります。

4 ハンドルグリップを持ち上げ、自動フックのロックがかかり開かないことを確認する。

ヘッドサポート・ボディサポートを取り付けていると
ベビーカーの折りたたみが通常より固くなります。
図の矢印の部分を手で上げ、確実に自動フックの
ロックをかけてください。

折りたたみ簡易ロックの使いかた

**背もたれを倒した状態で折りたたんだとき簡易ロックを使用すると、
小さく折りたたむことができます。**

⚠注意
- お子さまをのせてご使用する前に必ず簡易ロックをはずしてください。
  簡易ロックがかかったまま使用すると、ロックがはずれ背もたれの角度が急に変わるおそれがあります。
- ベビーカーを立たせたまま片手で簡易ロックの取り付け操作をするときは、必ず他方の手でベビーカーを支えてロックしてください。ベビーカーが倒れるおそれがあります。

1 ベビーカーを折りたたむ。

2 **❶ベースシート背面、中央部にある取り付けベルトを持ち引き上げる。**
❷幌後ろ裏側の中央にあるホックをとめる。

※ベビーカーを立たせたまま片手で簡易ロックの取り付け操作をするときは、必ず他方の手でベビーカーを支えてロックしてください。ベビーカーが倒れるおそれがあります。

- ベースシート側の取り付けベルトに指を通すと操作しやすくなります。
- 幌を取りはずした状態では、簡易ロックは使用できません。

自立スタンドの使いかた

警告

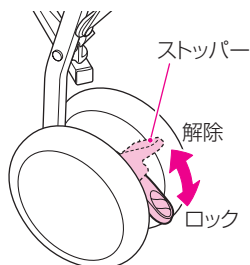
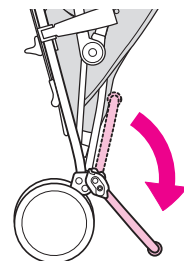
自立させているときに、ハンドルに過度の荷重をかけないでください。
自立スタンドのロックがはずれ転倒するおそれがあります。

注意

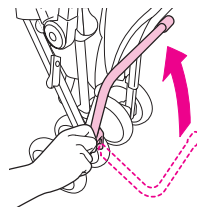
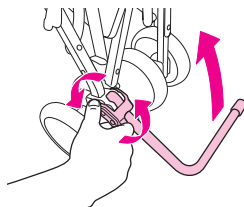
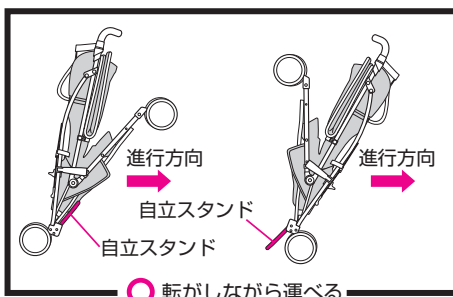
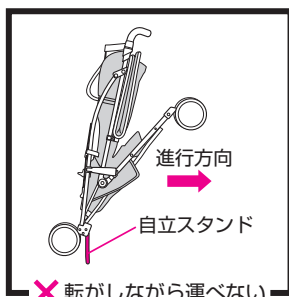
- 自立させるときは、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが倒れやすくなります。
- 傾斜や凹凸のある不安定な場所では立たせないでください。ベビーカーが倒れるおそれがあります。
- 周囲に人のいないところで立たせてください。人や物がぶつかると倒れるおそれがあります。
- ベビーカーを開いたときは、自立スタンドが収納されていることを確認してください。使用中に地面等に当たり、破損するおそれがあります。
- 転がして運ぶときは、自立スタンドを収納するか、進行方向に対してベビーカーが後向きになるようにしてください。自立スタンドが地面等に当たり、破損するおそれがあります。
- 折りたたみ状態でスタンドを収納するときは、必ずロック解除レバーで操作してください。ロックされた状態で無理にスタンドパイプを持ち上げると破損するおそれがあります。
- スタンドロック解除レバーを操作するときは、解除レバー以外に手を触れないよう十分注意してご使用ください。指や手をはさむおそれがあります。
- スタンドロック解除レバーを操作するときは、必ず他方の手でベビーカーを支えて操作をしてください。ベビーカーが倒れるおそれがあります。

折りたたんだ状態でストッパーをかけ、自立スタンドを出すと、ベビーカーを自立させることができます。
ベビーカーを開くと、自立スタンドは自動的に収納されます。
保管する場合は、ストッパーをかけて立てかけるか、車輪を下にして寝かせてください。

自立スタンドを使用するとき

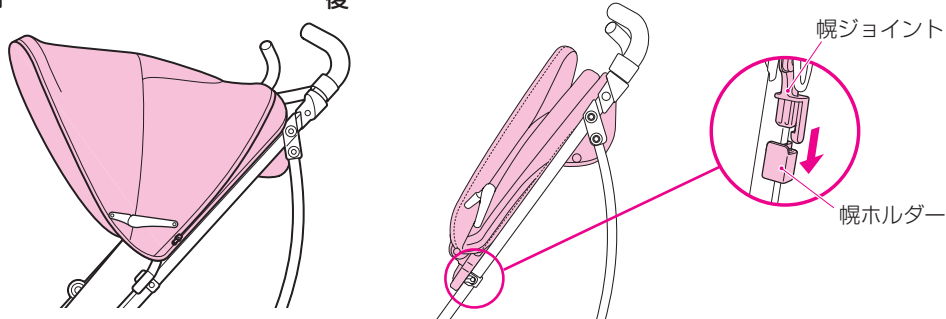
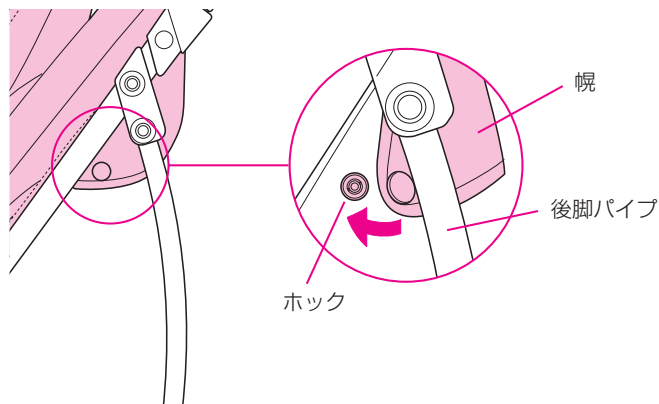
1 折りたたんだ状態で左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。

2 自立スタンドを押し下げる。

ベビーカーを折りたたんだ状態のまま、自立スタンドを収納するとき

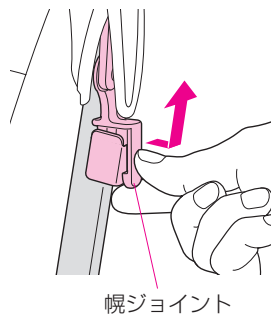
1 スタンドロック解除レバーを回し、スタンドを上げる。

2 スタンドを最上段まで上げる。

※ベビーカーを開くと、自立スタンドは自動的に収納されます。

部品の取り付けかた・はずしかた

幌の取り付けかた、はずしかた

取り付けかた

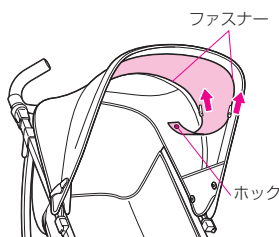
1 幌の前後を確かめて、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込む。

2 幌が後脚パイプの内側になるように左右側面2ヵ所のホックをとめる。

はずしかた

2ヵ所のホックをはずし、幌ジョイントの下端を外側に開きながら、引き抜く。

幌内カバーの取り付けかた、はずしかた

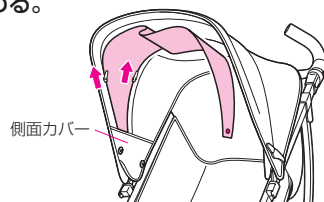
ベビーカーを折りたたんだときに、車輪により幌の内側が汚れることがあります。
幌内カバーのみ取りはずして洗濯することができます。

取りはずしかた

1 幌内カバー左右にあるホックをはずす。

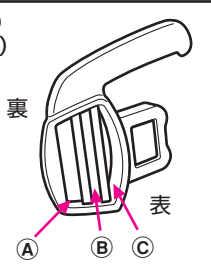
2 前後のファスナーを開く。

取り付けかた

1 前後のファスナーを閉じる。
※必ず前後ともファスナーを閉じてください。

2 左右のホックをとめ、先端部を側面カバーの内側におさめる。

※幌内カバーは前後をまちがえると取り付けできません。

シートベルトの取り付けかた

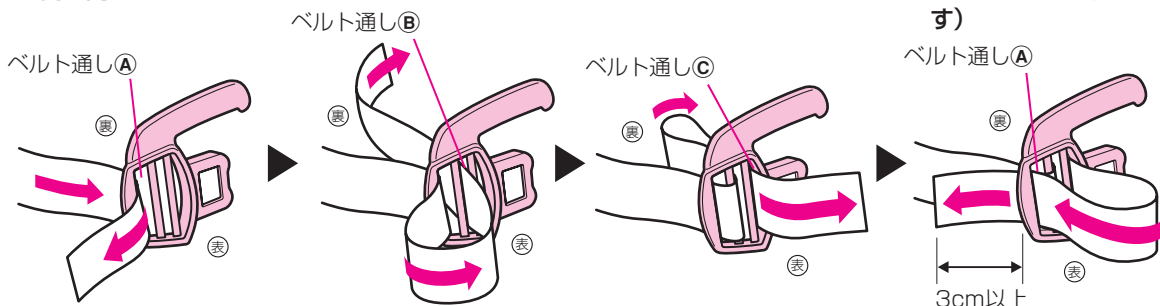
腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた

腰ベルトの長さ調節やお手入れのときに差し込みバックルをはずしたら、下記のように取り付けてください。

⚠警告
差し込みバックルの取り付けかたが、不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

1 バックルのベルト通しⒶに腰ベルトを通す。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向ける。

2 バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒷから裏側に通す。

3 バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒸから表側に通す。

4 バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。(ベルト通しⒶには腰ベルトが2重に通ります)

※腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

肩ベルトの取りはずしかた・取り付けかた

肩ベルトは高さ調節や洗濯のため、取りはずすことができます。

・肩ベルトの取りはずしや取り付けをするときは、お子さまを近づけずに行ってください。
・背板の折れ目に指等をはさまないようご注意ください。ケガをするおそれがあります。

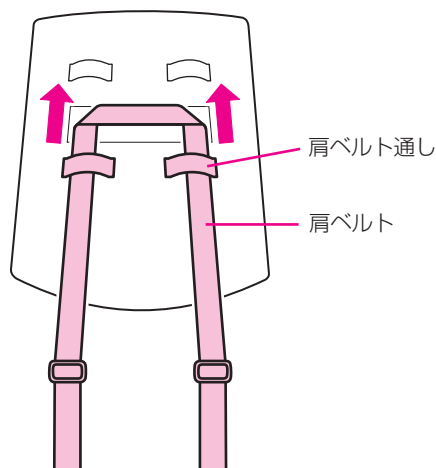
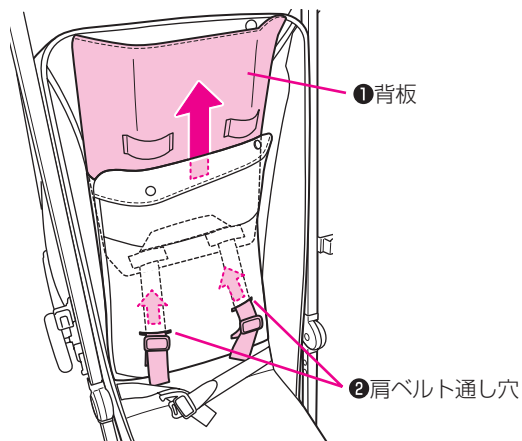
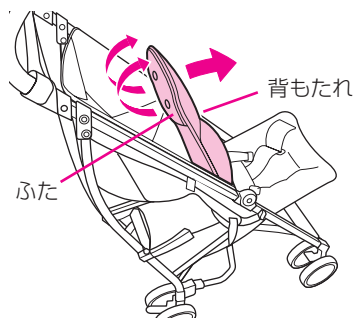
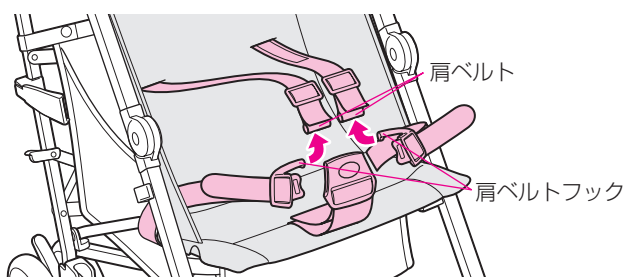
ここでは、幌および着脱シートを取り外した状態で説明しています。

取りはずしかた

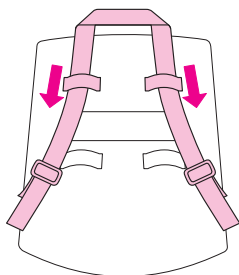
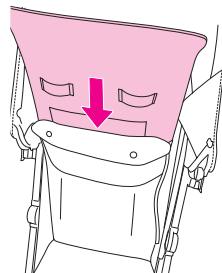
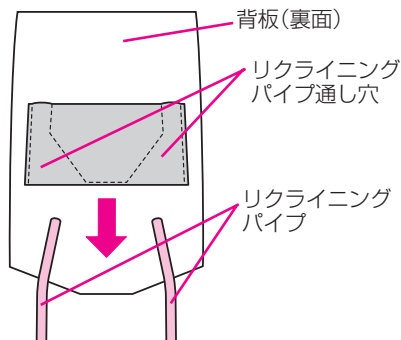
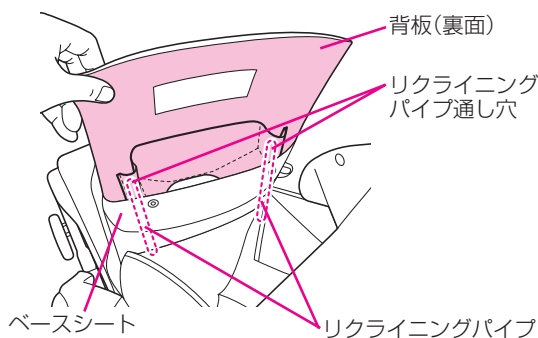
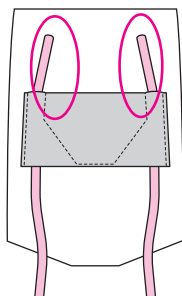
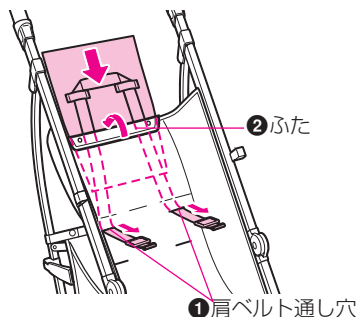
1 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)からはずす。

2 背もたれを前方へ起こし背もたれ裏側上部のふたのホックをはずす。

3 ❶ベースシートの中から背板を引き出す。
❷肩ベルトをベースシートの肩ベルト通し穴から抜き出す。

4 肩ベルトを肩ベルト通しから抜き、とりはずす。

取り付けかた

⚠注意
- お子さまの成長にあわせて、取り付ける高さを調節してください。
  お子さまの拘束に支障をきたすおそれがあります。
- 肩ベルトを背板の上の肩ベルト通しに通した場合は、ベースシートの上の肩ベルト通し穴に肩ベルトを通してください。
  また、下の肩ベルト通しに通した場合は、ベースシートの下の肩ベルト通し穴に肩ベルトを通してください。
  肩ベルトの長さが足りなくなるなど、お子さまの拘束に支障をきたすおそれがあります。
- 肩ベルトは注意ラベル側を表にして使用してください。
- 背板を取り付けるときは、背板裏側のリクライニングパイプ通し穴に左右それぞれのリクライニングパイプを必ず通してください。取り付けが不完全ですと本来の機能をはたさなくなるおそれがあります。

1 肩ベルトを背板の肩ベルト通しに上から通す。

2 背板をベースシートに差し込む。（背板の肩ベルト側がベビーカー前側を向いていること。）

3 背板にリクライニングパイプを通す。背板裏側のリクライニングパイプ通し穴をベースシート内側のリクライニングパイプに通す(左右)。

4 背板にリクライニングパイプが左右共通っているか確認する。

- エッグショックパッド用ポケットに引っかけないようご注意ください。
- 背板を半分程度差し込んだ状態で行うと、肩ベルトが引き出しやすくなります。

5 ❶肩ベルト通し穴から肩ベルトを引き出す。
❷ベースシートの上部のふたを閉めてホックをとめる。

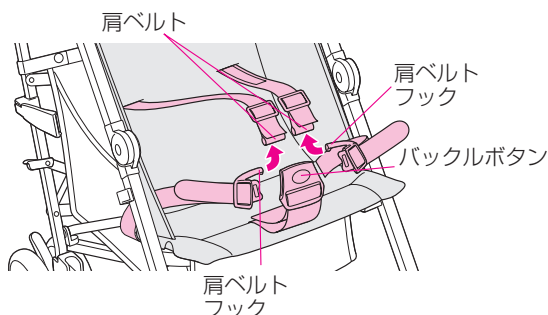
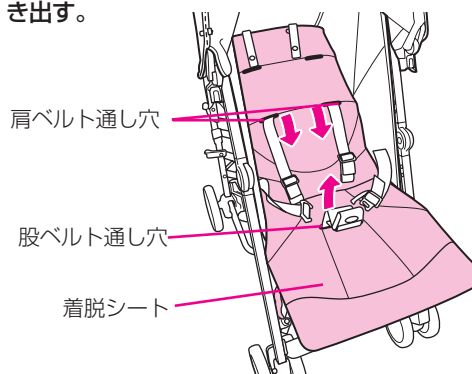
肩ベルトの高さの決めかたの目安
お子さまの肩が、下の肩ベルト通し穴と上の肩ベルト通し穴の中間くらいの高さになったら、上の位置に変更してください。

着脱シートのはずしかた、取り付けかた

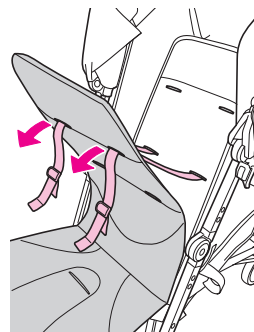
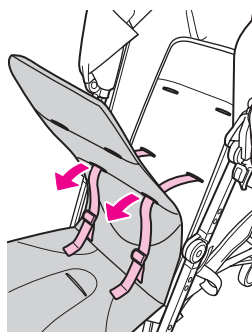
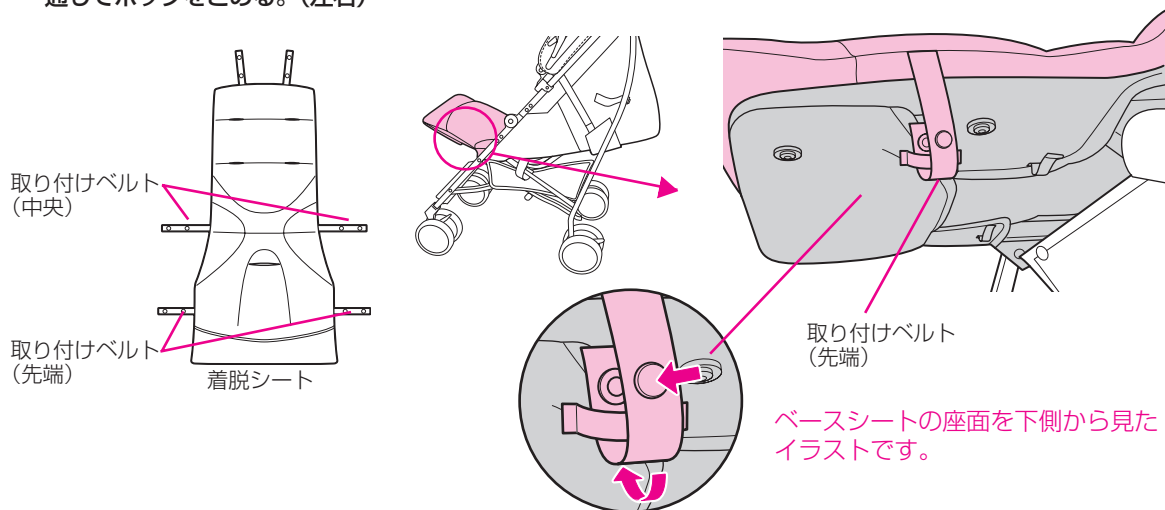
※着脱シートを取り付けなくても、ベビーカーを使用できます。
※お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、ベースシートおよび着脱シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。メッシュ生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。
※着脱シートは裏返して取り付けできます。

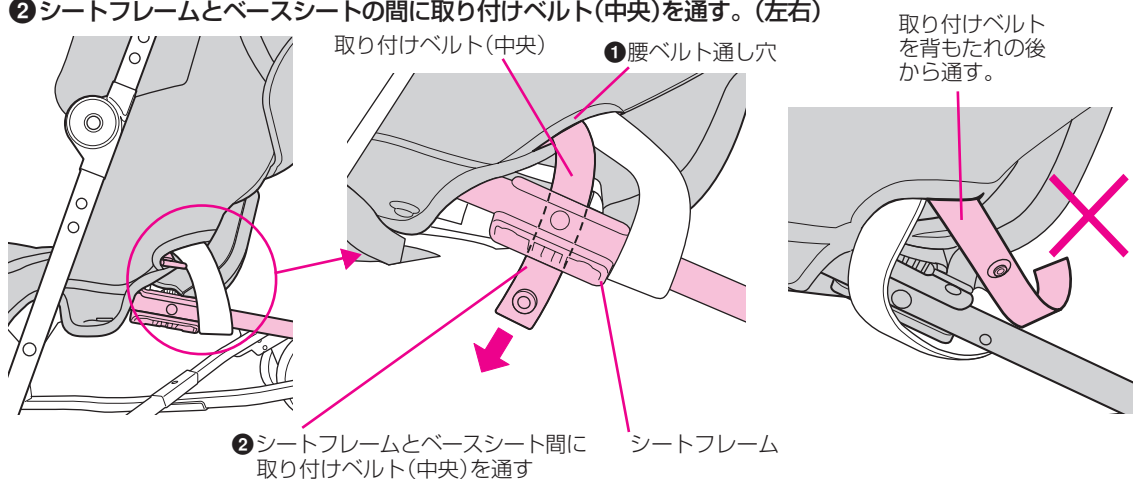
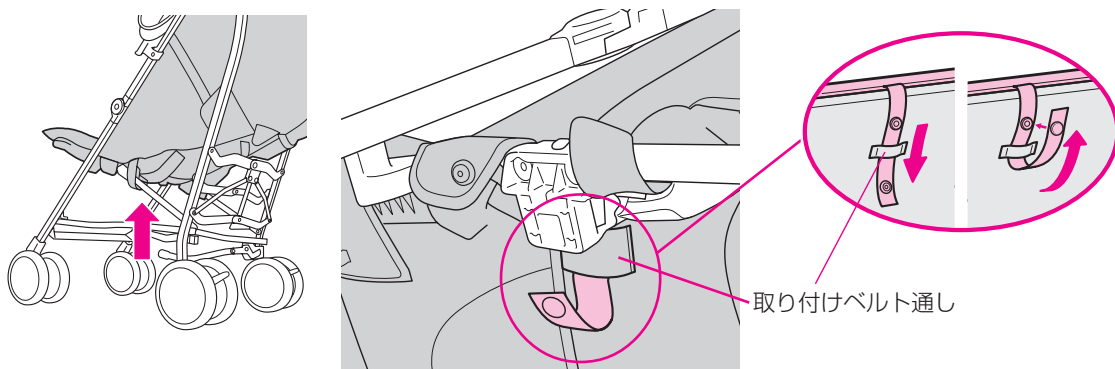
・やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
・着脱シートを取り付ける際には、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどの原因となります。

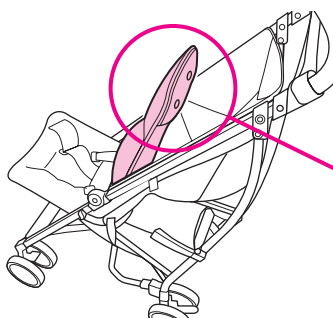
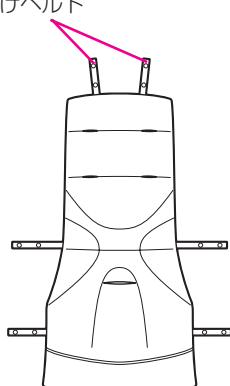
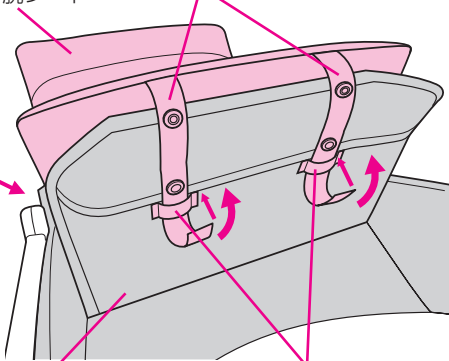
取り付けかた

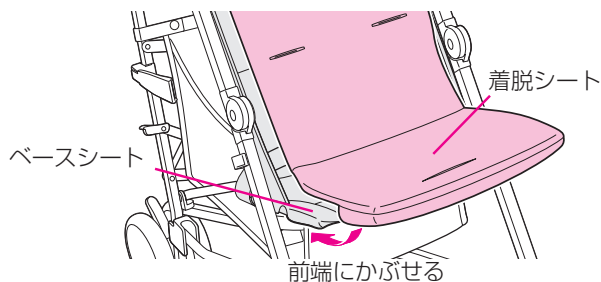
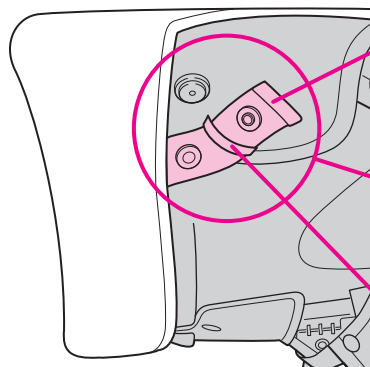
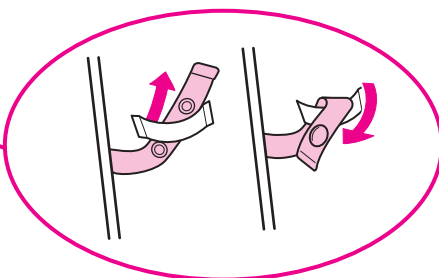
1 バックルボタンを押して、バックルから差し込みバックルをはずす。次に差し込みバックルの肩ベルトフックから左右の肩ベルトをはずす。

2 着脱シートをベースシートにのせ、 肩ベルト・股ベルトを着脱シートのベルト通し穴から表に引き出す。

着脱シートはリバーシブルタイプですので、裏返して両面取り付けることができます。
・裏面にしてヘッドパッドを使用するときは付けなおしてください。
・ダッコシートの取り扱いかたは28ページをご覧ください。

肩ベルトをベースシートの上の肩ベルト通し穴に通した場合は、着脱シートの上の肩ベルト通し穴に肩ベルトを通してください。また、下のベルト通し穴に通した場合、着脱シートの下の肩ベルト通し穴に肩ベルトを通してください。ベルト長さが足りなくなる恐れがあります。

〇　×

3 取り付けベルト(先端)を座面前方の裏側にある取り付けベルト通しに通してホックをとめる。(左右)

4 ❶取り付けベルト(中央)をベースシートの腰ベルト通し穴に通す。(左右)
❷シートフレームとベースシートの間に取り付けベルト(中央)を通す。(左右)

取り付けベルト(中央)
❶腰ベルト通し穴
取り付けベルトを背もたれの後から通す。
❷シートフレームとベースシート間に取り付けベルト(中央)を通す
シートフレーム

5 取り付けベルト(中央)を座面裏側の取り付けベルト通しに通してホックをとめる(左右)。

カゴをはずしてベースシートの座面を下側から見たイラストです。

6 背もたれを起こしベースシート裏側の取り付けベルト通しに取り付けベルト(上側)を通してホックをとめる(左右)。

●ダッコシートの取り付けかたは28ページをご覧ください。
●別売りオプション品着せ替えシートを取り付ける場合。

①足乗せを収納する。(足乗せの使いかたは15ページをご覧ください)
②着脱シートをベースシートに乗せ、前端の袋状の部分をベースシート前端にかぶせる。

③前端の袋状の部分の取り付けベルトを座面前方裏側にある取り付けベルト通しに通してホックをとめる(左右)。

その他の取り付け方法は、付属の着脱シートと共通になります。

はずしかた

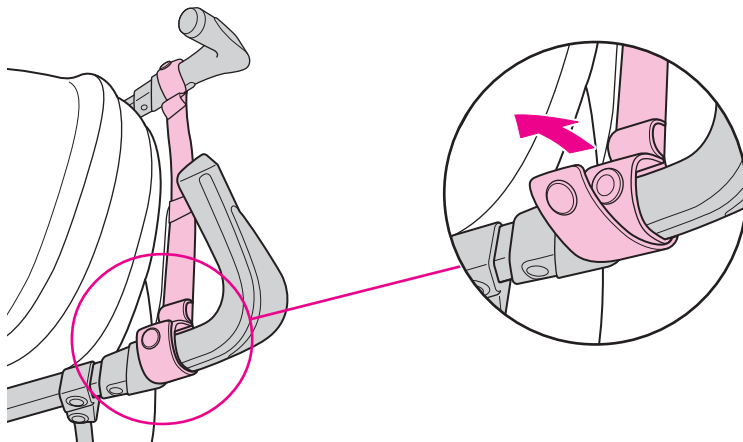
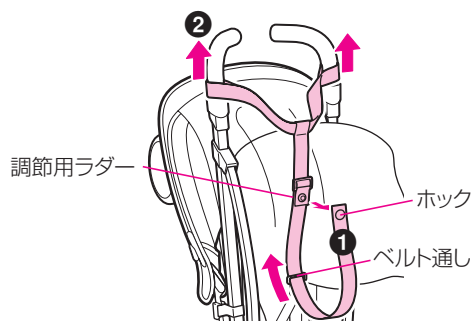
※取り付けと逆の手順で行います。

1 6カ所の取り付けベルトのホックをはずし、ベースシートの取り付けベルト通しから抜く。

2 肩ベルト・股ベルトを着脱シートのベルト通し穴から引き抜く。

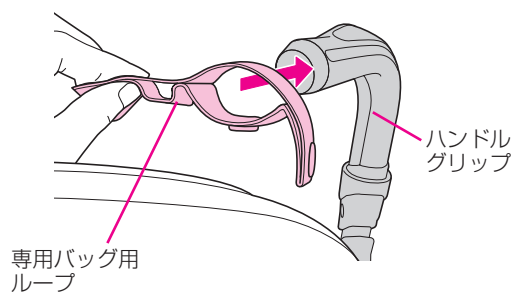
ショルダーストラップのはずしかた、取り付けかた

取りはずしかた

1 ハンドルグリップ部のホックをはずす（左右）。

2 ❶調節用ラダー下のホックをはずし、ベルト通しから抜き取る。
❷左右のハンドルグリップから抜き取る。

取り付けかた

取りはずしかたと逆の順に取り付けてください。

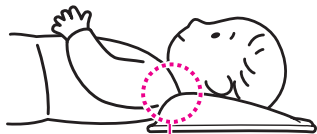
※ショルダーストラップの輪の部分はハンドルグリップの根元まで確実に通してください。

※輪の部分のとなりのループは別売の専用バッグを取り付けるためのものです。

ダッコシートの使いかた

●ダッコシート（ヘッドサポート、ボディサポート）は、お子さまの体格にあわせた取り付け位置でお使いください。

注意
- ヘッドサポートをご使用になられる場合、必ずエッグショックパッドを入れてご使用ください。
- 背もたれを起こした状態で使用するとき、お子さまの頭がベースシート頭部の壁面にあたる場合は、頭があたらない位置まで背もたれを起こして使用してください。
- やぶれやほつれの発生したダッコシートはそのまま使用しないでください。中のクッション材をお子さまが飲み込んだり、ダッコシート本来の機能がはたせなくなるおそれがあります。

ヘッドサポートの取り付け位置の目安

ヘッドサポートは、お子さまの首のあたりにクッションの凸部がくるように取り付けてください。

首にくるように取り付け

ダッコシートの取り付け時期の目安

	1ヵ月 ～ おすわり（7ヵ月ころ※）	おすわり（7ヵ月ころ※） ～ 48ヵ月
ヘッドサポート	←→	
エッグショックパッド	←→ ヘッドサポートの中	←→ ベースシートのポケットの中
ボディサポート	←―――	―――→

※月齢は目安です。お子さまの発育にあわせてご使用ください。

注意

ヘッドサポートを使用する場合、必ずエッグショックパッドを入れてください。

取り付ける前に

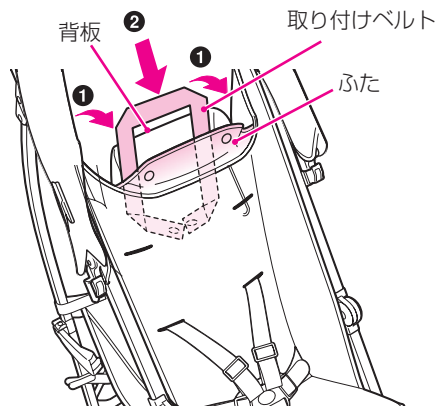
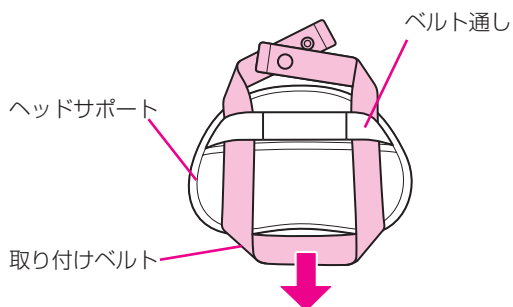
ヘッドサポートは梱包時に着脱シートに取り付けてあります。

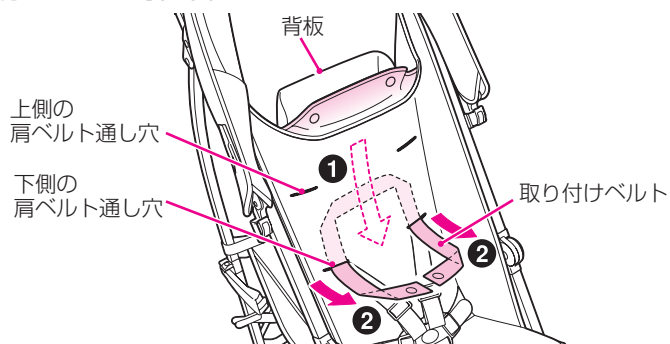
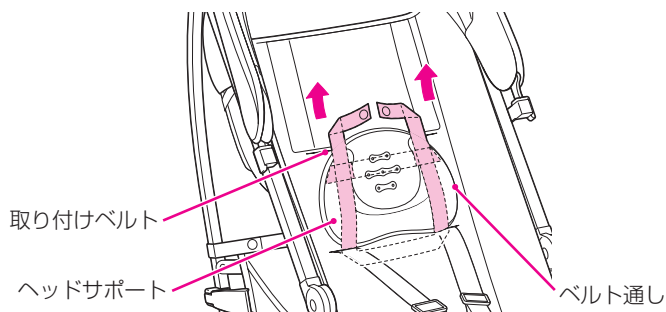
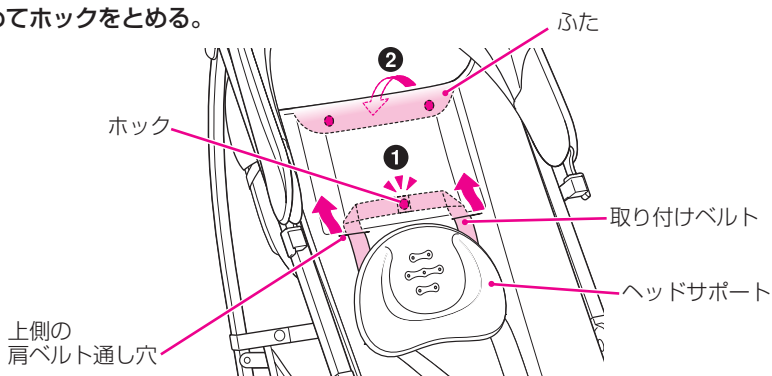
エッグショックパッド

ヘッドサポートの取り付けかた

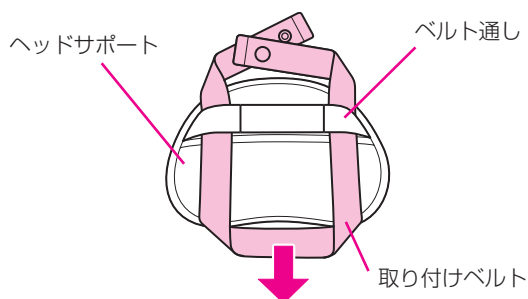
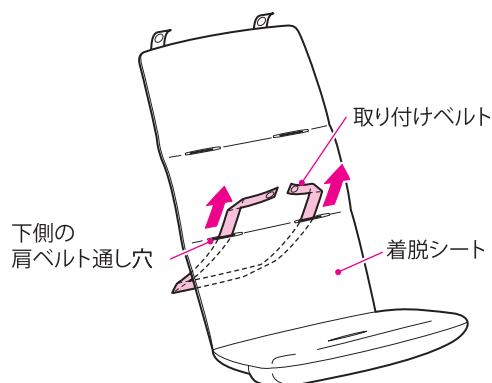
ベースシートへの取り付けかた

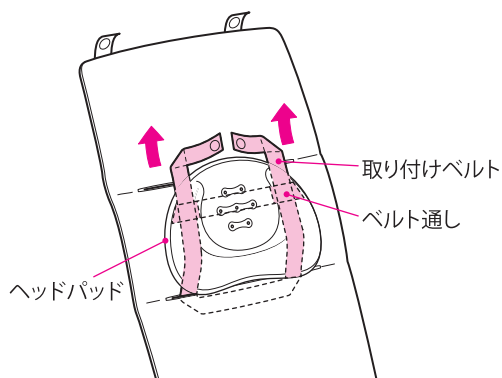
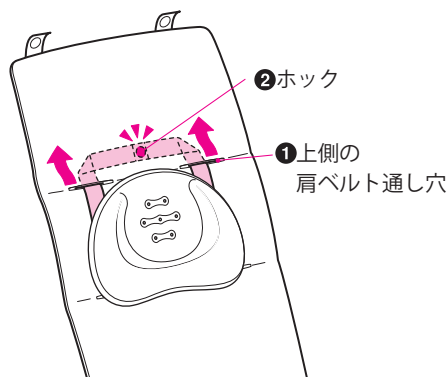
1 ヘッドサポートから取り付けベルトを取りはずす。

2 ❶ベースシート上部のふたのホックをはずしふたを開く。
❷取り付けベルトを、背板の前側からベースシートの内側に入れる。

・ヘッドサポートを使用するとき、下側の肩ベルト通し穴には肩ベルトと取り付けベルトの2本が通ります。

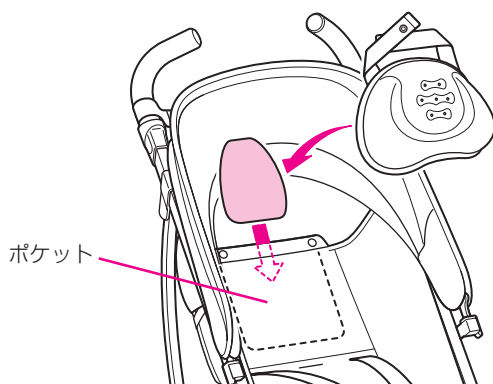
3 ❶取り付けベルトをベースシートの奥まで深く入れる。
❷下側の肩ベルト通し穴から取り付けベルトを引き出す。

4 取り付けベルトをヘッドサポートのベルト通しに下から通す。

5 ❶取り付けベルトを上側の肩ベルト通し穴からベースシート内側にいれ、
取り付けベルトのホックをとめる。
❷ベースシート上部のふたを閉めてホックをとめる。

・ヘッドサポートを使用するとき、下側の肩ベルト通し穴には肩ベルトと取り付けベルトの2本が通ります。

着脱シートへの取り付けかた

1 ヘッドサポートから取り付けベルトを取りはずす。

2 下側の肩ベルト通し穴に着脱シート裏側から取り付けベルトを通す。

3 取り付けベルトをヘッドサポートのベルト通しに下から通す。

取り付けベルト
ベルト通し
ヘッドパッド

4 ❶取り付けベルトを上側の肩ベルト通し穴から着脱シートの裏側に通す。
❷取り付けベルトのホックをとめる。

・着脱シートの取り扱いかたは24ページをご覧ください。
・ヘッドサポートを使用するとき、下側の肩ベルト通し穴には肩ベルトと取り付けベルトの2本が通ります。

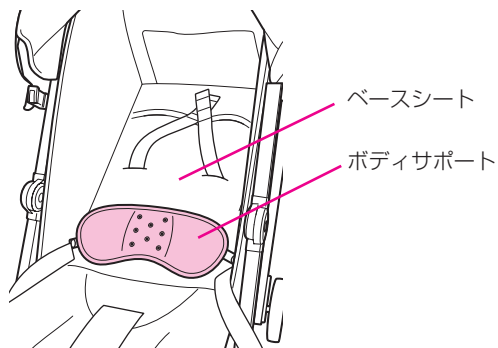
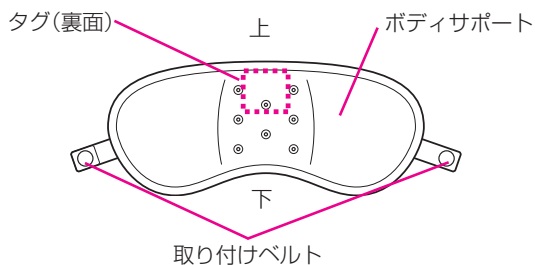
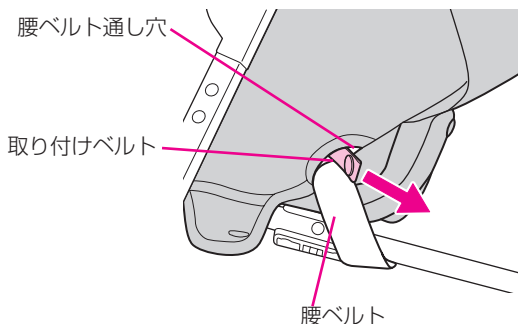
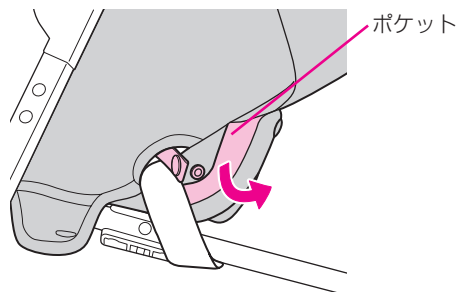
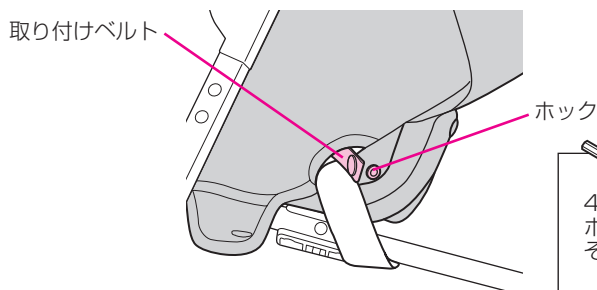
エッグショックパッドの使いかた

肩ベルトを上側の肩ベルト通し穴で使うときは、ヘッドサポートを取りはずしてください。エッグショックパッドのみ、ベースシート内のエッグショックパッド用ポケットに入れて使うことができます。

部品の取り付けかた・はずしかた

ボディサポートの取り付けかた

着脱シートの有無にかかわらず取り付けることができます。

取り付けかた

1 ボディサポートの上下を確認し、ベースシートにのせる。（裏面タグの付いているほうが、上側です。）

2 左右の取り付けベルトをベースシートの腰ベルト通し穴に通す。

3 ポケットをめくる。

4 ベースシート側面ポケット内側のホックに取り付けベルトをとめる。

4歳未満でもお子さまの体格によっては、
ボディサポートが合わなくなることがあります。
その場合は使用を中止してください。

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

● 着脱シート、ヘッドサポート、ボディサポート、幌内カバー、ショルダーストラップ、肩ベルトの洗濯

- 30℃以下の液温で手洗いしてください。
- 洗濯機は使用しないでください。
- きついもみ洗いはしないでください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形をととのえて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 幌内カバーのファスナーが生地や他のものに引っかからないように注意して洗ってください。

● ベースシート、幌、買い物カゴ、腰ベルトのお手入れ

- 幌や買い物カゴは液中につけず、30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 幌のプラスチック部分やカゴのホックなどでケガをしないように注意してください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

※ ベースシート、腰ベルトは取りはずすことはできません。
※ 製品の特性上、若干色あせすることがあります。
※ 洗濯の際は、（蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない）中性洗剤をおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。
※ 保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

● エッグショックパッドについて

- エッグショックパッドは洗濯できません。
- ヘッドサポートを洗濯するときは、必ずエッグショックパッドを取りはずしてください。

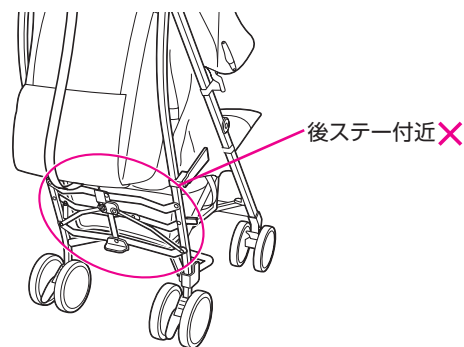
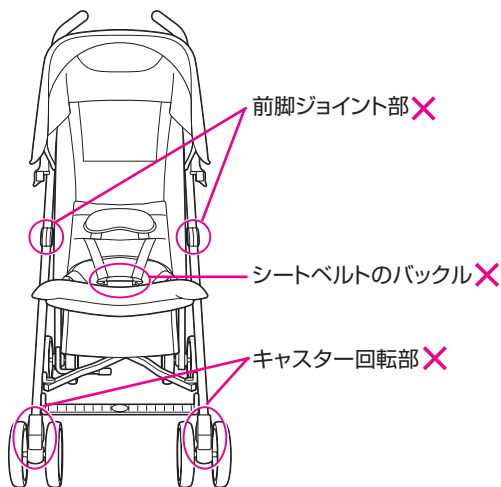
車体の清掃について

車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

● 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について

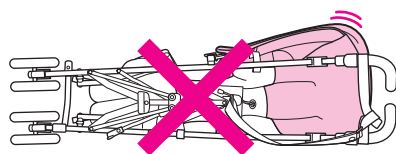
● きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコーン系）を少量、注油してください。
注油するときは、注油箇所の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、機能を低下させます。

● 下に示す箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

その他

保管のしかた

**直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。**

⚠注意

・火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
・ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。
故障や変形の原因となります。
・ベビーカーを寝かせて保管する場合は、車輪を下にしてください。
横向きに寝かせて保管をすると、故障や変形の原因となります。
・自立させるときは、必ずストッパーをかけてください。
ベビーカーが倒れやすくなります。

点検とアフターサービスについて

●ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。
お問い合わせの際は、後ステーに貼ってあるシールをご覧になって機種名・ロット No をお知らせください。

●締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。

●本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。
製品使用上は差しつかえありません。

●危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。

●お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。

**コンシューマープラザ
(Customer Service Center)**
〒 339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田 271
TEL.（048）797-1000
FAX.（048）798-6109

**コンシューマープラザ
(Customer Service Center）／西日本担当**
〒 540-0026　大阪府大阪市中央区内本町 2-4-16
TEL.（06）6942-0379
FAX.（06）6942-0302

廃棄方法について

●お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

SG マークの被害者救済制度

SGマークが表示されたベビーカーを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より4年以内です。

●賠償についてのご注意

• 認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
• 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者(お子さまなどの場合は保護者でもよい)が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。

製品安全協会　東京都台東区竜泉2丁目20番2号
ミサワホームズ三ノ輪 2階
TEL. (03) 5808-3300

●事故賠償に必要な項目
① 事故の原因となったベビーカーの現品
イ)製品の名称、SG番号　ロ)製品の購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
イ)事故発生年月日　ロ)事故発生場所　ハ)事故発生状況
③ 被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
ロ)被害の状況と程度(医師の証明書)

コンビ製品をご購入いただいた方へ、知って得する情報です

コンビ製品＆子育て情報サイト「コンビタウン」に会員登録すると、便利でお得なサービスがいっぱいです！

【主なサービス特典】

☆お得な情報が満載のメールマガジン
アンケート募集の他、イベントやポイントプレゼントのお知らせ、お得なコンビ製品のセール情報などをメールマガジンで会員の皆さまにお知らせします。

☆ポイントを貯めて、コンビミニでお買い物
コンビ製品の所有品登録やアンケートの回答、コンテンツへの応募などでコンビタウンポイントが貯まります。
貯まったポイントはコンビミニのお買い物ポイントとして使用可能！１ポイント＝１円として使えます。
※詳しくはＷｅｂサイトをご覧ください。

●特典内容は変更されることがあります。ご了承ください。

その他にも会員ならではの特典をご用意しております。
ご入会は「コンビタウン」Ｗｅｂサイトのトップページからお願いします。

アクセスはこちら　⇒　http://www.combibaby.com/　コンビタウン

Combi
コンビ
ベビーカー
キューレットミューラーアダマス

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)
受付時間：10：00～17：00 (日祝日、年末年始を除く)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
■総合受付 (各種ご相談) 窓口　商品に関するお問い合わせ/修理のご要望/各種ご相談/その他
TEL. (048) 797-1000　FAX. (048) 798-6109
■部品販売 (相談) 窓口　部品購入のお問い合わせとご注文
TEL. (048) 797-1001　FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当
受付時間：10：00～17：00 (土日祝日、年末年始を除く)
〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL. (06) 6942-0379　FAX. (06) 6942-0302

※ホームページでのご案内　http://www.combi.co.jp/cp/

135556030　　10.12